



校 報

さくら

第78号

兵庫県立

はりま一宮小学校

学校教育目標

「こころ豊かにたくましく  
自ら学ぶ児童の育成」

本年度のテーマ

子どもが主体的に学ぶ

学校文化の創造

## 卒業・進級・年度末に際して

校長 浅田 和典

早いもので、季節は進み、啓蟄の候となりました。春の暖かい日差しが、空気や大地、そして植物や動物を温めてくれる、有り難い季節となりました。

そして、年度末を迎えようとしています。今年度の卒業式は、三月二十四日で、三十九名の卒業生が巣立っていきます。振り返れば、この六年生が二年生の春に緊急事態宣言があり、臨時休校を二ヶ月間行いうという前代未聞の事態となりました。その後の三年間、いろいろな活動で内容を制限し、心身共に大変な時を乗り越えてきました。そのような中でも、逆境をはねのけ、家族や地域の皆様の支えを受け、心豊かにたくましく成長した子どもたちの卒業を心から嬉しく思います。

六年生が卒業文集を作りました。その中には、子どもたちが振り返って思う「自分の成長」について、次のように書かれています。(一部抜粋)

「地域の人にあいさつをすることができた。仲良くできる。声をかけることができる。謝ることができる。仲直りができる。好き嫌いが減った。身長が伸びた。体力がついた。計算ができる。字を丁寧に書く。発表ができる。整理整頓ができる。準備をする

こと。ありがとうとごめんが言える。落ちていて行動する。冷静に考える。客観視することが出来る。人のがんばりを認める。注意される前に気づいて行動することが出来る。相手を許すことができる。自分から立候補できる。周りを見る力が身についた。」

これらの成長は、その時々々の生活や学習の目標に向かって努力を繰り返すことで達成し、その地道な繰り返しによって積み重ねることができた大切な力だと思っています。この成長は本人の喜びであると共に、関わってくださった全ての方々の願いでもあったと思います。

また、卒業生が「これから頑張りたいことや大切にしたいこと」について、次のように書かれています。(一部抜粋)

「人の気もちを考える。人に優しくする。親切にする。道徳心を大切にする。礼儀を大切にすること。自分や家族、友だちを大切にすること。仲間を信じる。感謝すること。努力すること。勉強すること。何にでも挑戦すること。協力すること。コミュニケーションをとる。積極的に行動すること。あきらめない。」

私は、この卒業文集を読んで、子どもたちが本当に素晴らしい目標や考え方をもっていることにとても感心しました。普段から立派な態度で生活し、仲間や周囲の人々を



明るい気もちにさせてくれる「はりまっ子」たちの根底にある考え方や心構えを再認識した気がしました。卒業生たちが、これからの人生を、周りの人々と力を合わせ、自分の個性や良さを活かして、元気に生き抜いてくれることを願います。



また、一年生から五年生の児童も、進級に向けて準備をしています。五年生は、六年生を送る会の準備と運営を率先して行い、在校生をリードしてくれました。普段の生活の全てで、最高学年になるための引継ぎしようとしています。四年生は、最高学年と共に学校を支える意識を高め、日々の活動に取り組んでいます。また、先日一宮北小学校に行き、一宮連合で取り組む自然学校に向け、交流や準備をしています。三年生は、高学年になることを自覚し、身の回りの責任をしっかりと果たす力を身につけようと努力をしています。二年生は、中堅学年となるため、新一年・二年生を支えようとする気もちを高め、さらに、こども園の三四歳児との交流もがんばっています。一年生は、こども園の五歳児と頻りに交流し、新入生の一つ上の先輩として力を合わせるような準備をしています。さらに、それぞれの学年が、卒業式の練習にも心を込めて取り組んでいます。

今、はりまっ子たちは、節目の時を迎えています。この一年間をしっかりと振り返り、頑張ったことや成長したことを確かめ、新たな目標をもって再スタートに備えようとしています。どうか保護者の皆様には、お子さまとともにその成長を喜び、希望をもって次の一步をふみ出せるよう、励まし



## 3月の行事予定

20日(木) 春分の日

24日(月) 卒業式

25日(火) 終業式・修了式



## 4月の行事予定

4日(金) 離任式

7日(月) 着任式・始業式・入学式

11日(金) 給食開始

18日(金) 第1回PTA常任理事会・理事会

24日(木) 授業参観・総会・懇談(午前)

28日(月) 家庭訪問 ~5月2日(金)



の言葉をかけていただきました。ありがとうございます。さらに、今年度は、小中一貫校「一宮南学園」として再スタートした年でした。交流活動や乗り入れ授業、合同行事、合同PTA活動などに取り組み、円滑な小中の接続、小中の相互理解と連携強化に取り組んできました。新たに取り組むことで、新たな課題や教育の可能性が見えた一年でもありました。そして、園小の円滑な接続についても、来年度の県造形教育研究大会に向けた図工の授業や交流行事、日常の遊びなどの多くの活動で関係づくりや相互の学びを深めることができました。

今後、次年度に向けて一つ一つの具体的な活動を園児・児童・生徒・教職員が、わくわくする気もちや目的、夢を抱きながら、考えていきたいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様、本年度の本校の教育に、ひとかたならぬご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。引き続き、来年度もよろしく願います。